

第2回 球磨川橋梁復旧技術検討会

議事概要

- 日 時：令和3年7月30日（金） 14：00～15：50
- 場 所：熊本県八代市上日置町4478-1 八代復興事務所会議室
- 出席者：園田委員長、岩坪委員、幸左委員、西田委員、松村委員、
星野委員（リモート参加）
熊本県
九州地方整備局

【議事概要】

○第1回検討会における整理事項

- ・流失した橋及び流失しなかった橋の被災要因について、整理事項を確認した。引き続き、流失しにくい橋の構造検討に反映するために整理することが確認された。

○流失した橋梁の復旧位置の検討

- ・橋梁位置の検討における観点および回避すべき範囲の前提条件について確認し、了承された。
- ・坂本橋、鎌瀬橋、沖鶴橋は、復旧位置の設定について議論し、了承された。
- ・今後、流失しにくい構造の検討が必要であるとの助言を得た。
- ・坂本橋は、八代市より坂本支所の再建位置が示されているため、関連する事業との一体的な検討を行い、関係機関と連携することが必要との助言を得た。
- ・深水橋、神瀬橋、大瀬橋、松本橋、相良橋の復旧において回避すべき範囲については、「狭窄部、水衝部、支派川の分合流部」の範囲設定方法の条件等を整理したうえで、引き続き議論することが確認された。
- ・西瀬橋は、部分的な流失であるため、現位置に復旧することについて報告した。また、流失しにくい構造の検討が必要との助言を得た。